
なぜ両耳につける必要があるのか

博士補聴器

私達は生まれつき2つの耳を持ちます。それにより、私達はどこから音が来るのか認識できます。例えば、道を歩いている時、どの方向から車がくるのか察知することで、危険を回避できます。同様に2つの耳は、他者の言葉を聞きやすくしています。そのため、補聴器は片耳よりも両耳装用の方が大きな利点があるといえます。

以下が補聴器両耳装用の利点です：

言葉の明瞭度に優れる

片耳に補聴器をつけた場合、似たような言葉を聞いたときに言葉の認識を誤る事があります。両耳装用の場合、片耳よりもはっきりと言葉を認識できます。

騒音下での言葉の明瞭度が改善されます

周りがうるさい環境で人の話を聞きたい場合、真っ正面から向かって言ってもらっても聞きにくいことがあります。聴力が落ちている場合にはさらに聞きにくくなります。

騒音環境下で片耳だけの補聴器装用では、両耳装用に比べると、どれが騒音で、どれが聞きたい音なのかを大脳での判断が難しくなります。補聴器の両耳装用では、聞きたくない周囲の騒音を大脳が認識しやすくなり、その雑音を頭で無意識に抑えることができるため、言葉を更に理解しやすくなります（カクテルパーティー効果といいます）。そのため両耳装用は騒音下での言葉の明瞭度を改善します。

補聴器の音量を小さくする事ができ、快適になる

片耳のみの補聴器装用は、両耳装用よりも音量を大きくする必要があります。両耳装用は片耳装用に比べ音量を小さくできるので雑音が少なくなり快適です。

音の方向が分かる

脳が音の方向を感知する為には、両耳からの音情報が必要です。例えば、右の方向からの車のクラクション音は、右耳には左耳よりわずかに大きく聞こえ、早く到着します。この”わずかな差”を脳は瞬時に”判別”し、音が鳴る位置を察知することができるのです。危険な音を含め、周囲の音の方向が分かる事は、私達にとってとても重要なことです。

聞こえる音質が良くなる

両耳装用の方が比較的音が自然だと感じ、音質も比較的良く感じます。

満足度が高い

研究結果から、両耳装用の方が片耳装用よりも満足度が高いということが明らかになっています。

聴覚の退化を防止する

一つの耳を長い間使っていないと、聴覚刺激が不足し、月日のたつうちに、大脳もだんだんの音を聞く事を忘れます。そのため両耳装用では聴覚の退化を防止できます。